

豊川市議会議員

小林たくお何でもだより

No.5 2007年1月号 小林たくお TEL.0533-93-3622



寒い日が続きますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

私は、この2月で市議会議員にさせていただき1年が過ぎました。この一年で、今年度の予算から昨年度の決算を通して豊川市の財政を考え、予算で行われる市の行事などを数多く経験させていただきました。今後はこの経験を生かし、豊川市の発展のため、ますます頑張っていきたいと思います。今年は、たいへん選挙の多い年です。政治に関心を持っていただき、もてる権利を無駄にすることのないようにしていただきたいと思います。皆さんの一票が政治を動かす年であると思います。



新市の将来像



「光と緑に映え」「豊かで」

「住みよい」「夢のあるまち」

安全で安心して健やかに暮らせる街
豊かな自然と歴史を守り生かす共生の街
連帯と協働で活力ある未来を築く街

基本計画

平成18年～27年（10年間）

元気が出るまち

工業用地の開発
公共交通機関の要衝
バリアフリー化の推進
利便性の向上

など

住みたくなる町

新市民病院の建設
子育て支援
地域医療体制
衛生環境の向上

など

みんなで作ろう豊川

新市民の連帯強化
まちづくり振興基金の活用
衛生環境の向上
住環境の整備

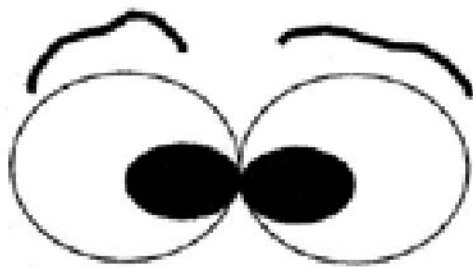
など

たくおの
思いその1



住民が安心して住める街、夢のある街を作ることが、私の希望です。合併による建設計画や総合計画を確実に実行し、計画性のあるまちづくりをしていきます。大きな計画から、身近な改良まで着実に実行し、努力することが私の使命であると考えています。

今年が目玉



= 企業開発 =

1. 大木区画整理事業の計画が進行
2. 国道151号線バイパス計画変更後、整備計画が進行
3. 新産業拠点区域(大木町)に開発計画が動き始める。

= 豊川地区 =

月1回のイベント「いなり楽市」などを展開する豊川稲荷門前、表参道発展会が「がんばる商店街77選」のアイデア商店街にとりあげられた。テレビ愛知(遊びに行こう〜)でも紹介された。

= 防災・福祉 =

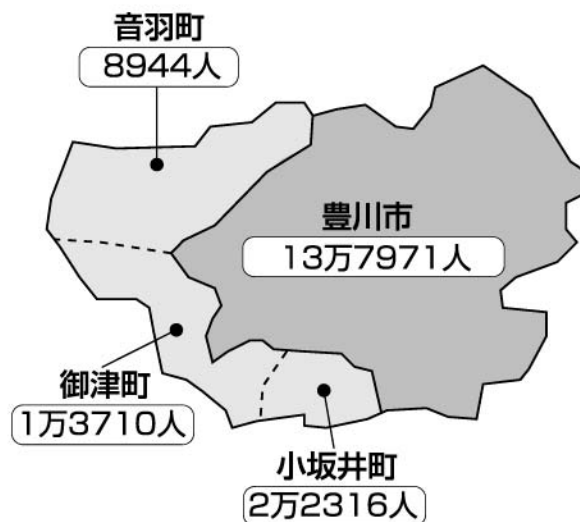
1. 諏訪地区に県が「無電柱化事業」を計画。中心市街地の防災対策と景観の向上を図る。特に防災面では、地震などで電柱が倒れることによる道路の通行止め、電気、通信の寸断を防げる。
2. 「プリオ」5階に子育て支援として、子供に関する相談の場などが集約される。すでに「つどいの広場」を開設しているプリオに、子育て支援センター・ファミリーサポートセンター・家庭児童相談室などを集約し、総合的な子育て支援の場をつくる。

= 宝飯豊川合併問題 =

昨年3月に申し入れのあった音羽町や御津町から合併協議の申し入れがあり、小坂井町でも合併を求める動きが出ている。一宮町との合併に対しての利点としては国の財政支援が受けられた。しかし、現在の合併新法では財政支援の見通しは無く、3町と豊川市の地域格差がすぐには解消できないことにも理解を問うことではある。互いのメリットがなければ合併は成り立たないのでは……。

※合併新法

……自主的な市町村の円滑な運営の確保及び発展を図り、地域における行政を自主的・総合的に実施する役割を広く担うことができるようにすることを目的とするもの。



☆ 通信版 ☆

選挙の期日前投票をしやすいように一宮総合支所にも、一宮町の時と同じように期日前投票所を設置してほしい。との問い合わせにお答えします。

一宮地区の方には、以前より不便になるとは思いますが、「選挙の公平性」という観点から、一宮地区で投票所の統合、期日前投票所の廃止がなされました。一投票所での有権者1,000人以上、距離3km以内という豊川市の設定を一宮地区に当てはめたものです。また、期日前投票所については、旧豊川市の周辺地域からの距離より、一宮地区は期日前投票所までの距離がまだ近いのです。ご理解ください。

みなさまのご意見をお聞かせください。

HP <http://www.ccnet-ai.ne.jp/takuo/>

“小林たくお”でも検索OKです。

2006年の振り返り

新「豊川市」の経過

- 2月1日豊川市と一宮町が合併
新市「豊川市」が誕生!!

人口 約13万8000人

- 合併に伴い旧一宮町を選挙区に市議会議員の増員選挙が行われ、4人の新市議会議員が決定。
- 一宮地域審議会が設置され、旧一宮町の各種団体代表や、学識経験者、公募の住民15名が選ばれる。
- 新市建設計画として、消防署一宮出張所の建設工事が始まった。(新たに救急車1台を配備、到着時間が短縮され、約5分で現場に着くようになる。)
- 本宮の湯で「本宮まつり」が初めて開催された。
- 照明灯を一宮地区に160ヶ所設置



消防署一宮出張所の建設工事に着手

一宮地区が明るく
なったよ～

★照明灯160ヶ所設置★

豊川市街から一宮町へ向かう時、いつも思う。
一宮地域は夜7時を過ぎると周りがずいぶん暗くなる。防犯対策には少し欠けている所もあるのでは…。「照明灯の増設につき、一宮町が明るくなったね。」と一宮地区市民の言葉。
うれしい一言でした。

住民の運動需要に応えて

千両町で計画されているのが「スポーツ公園」。
千両小学校近くで、一宮地区とむすばれている県道豊川新城線沿いの多目的広場。野球やサッカー、住民のスポーツ・レクリエーションにも利用できる。ランニングコースを広場外周に整え、園内を周回(約1.4キロ)することができる。

=豊川地域ブランド=

〈豊川名物・いなり寿司〉登場!!

豊川稲荷参道の名物(いなり寿司)がJAひまわり東上グリーンセンターでも味わえます。通常いなり・花穂じそいなり・黒ごま入り食菊いなり・わさびいなの4種。きつね家族のキャラクターパッケージに詰められた(名物いなり寿司)だよ。豊川市内の『有名すし屋』が協力しています。



思
た
く
お
の
こ
の
2



合併をして、良くなった点、悪くなった点、いろいろ挙げられると思いますが、みなさんはどのようにお考えでしょうか?一度、具体的にどこがどうなったか、考えてご意見をいただけないでしょうか。



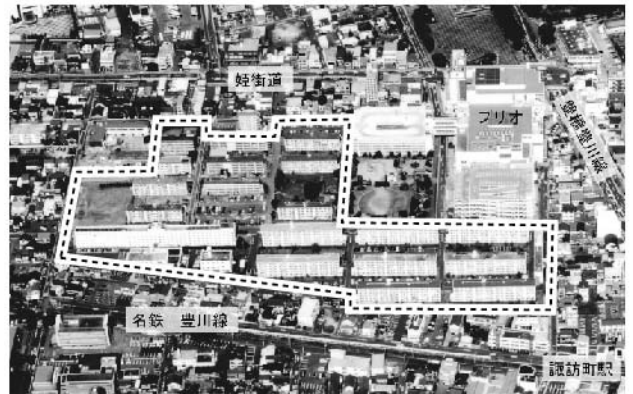
新豊川市民病院

=平成23年頃開院へ=

老朽化に伴い検討していた新市民病院の建設予定地が諏訪地区に決定しました。商業ビル「プリオ」の南西の4万9千平方メートルのうち3万5千平方メートルを計画。駅前に位置することで高齢者ら交通弱者や医師・職員の利便性が高いこと、また、年間約100万人が訪れることによる中心市街地の活性化効果が期待されることが選定理由となった。課題としては、環境、駐車場、交通渋滞など周囲の整備や医療ベッドの増床などが挙げられる。



現在の市民病院



建設候補地中心市街地の諏訪地

た
く
おの
思
い
の
こ
ろ



市民・患者にとって、使いやすく安心できる施設が必要です。駐車場や渋滞の問題はもちろん、外来や入院施設もスッキリと使いやすい病院にします。

…ちよつと
寄り道…

『十二支のゆらい』

- 昔、高い山のとっぺんに神様が住んでいました。
今日は12月30日の夜。神様は国中のどうぶつたちに、てがみを書いています。
なんまいも書いてまどからとぼします。
- 夜があけて、12月31日の朝。
動物たちはてがみを読んでいます。
『あすのお正月の朝、いちばん早く来た者から十二ばんめまでを、1年こうたいで、動物のたいしょうにします。』
ところが、ねこだけは手紙を読みませんでした。
『ねずみ君、なにをみんなはさわいでいるんだい?』
ねずみはねこに神様のところへ行くのはあさってだと伝えました。
- いよいよ出発です。
さるといぬは仲良くでかけました。丸木ばしにやってきました。やがて競争になりけんかになりました。争っているうちに、はしがおれて、まっさかさま。二匹は川におちてしまいました。それでも、けんかをしながら必死ではしります。
- 新年のたいようがのぼります。いちばんは…うしです。
いいえ、ねずみです。うしのせなかから、ぴょんとおると、ちょろちょろ神様のまえへ走っていきました。ねずみがいちばんか。うしはくやしがりました。
いよいよ、神様は十二ばんめまでをかぞえます。ねずみ、うし、とら、うさぎ、たつ、へび、うま、ひつじ、さる、にわとり、いぬ、いのししこれで十二ひきじゃ。
- そこへ、ねこが飛び込んできました。
『きょうだったのか。ねずみめ!よくもだましたな。』
ねこはおこってねずみをおいかけ回します。みんなおさわぎです。いよいよえんかいが始まりました。
- いよいよ、ねずみ年から始まり、いのししとつづく十二支のはじまりです。ねこはいまでも、ねずみをみると、おこって追いかけまわすとか。
いまのねこはねずみをみるとにげだすけどな……。

